



2016年6月20日
2016年度第4号・通算14号

◇◇ 東京あおぞら連絡会事務局 ◇◇

発行責任者: 大島文雄

Tel: 03-6912-1656

Fax: 03-6304-1418

6/1~2 公害総行動に2,000人!!
あおぞら連絡会は吉川理事長、鳩子代表委員を先頭に奮闘

環境月間の二日間に渡って取組まれた、第41回公害被害者総行動は、初日の環境大臣交渉を皮切りに、昼デモ、省庁、東電交渉を展開、休む間もなく夜には総決起集会在1,100人で開催されました。

6/2は霞が関・官邸周辺・大手町・東電前等での朝宣伝に続き企業・団体、省庁交渉、東電抗議行動が行われました。病を抱えた患者さんたちが昼過ぎまで頑張りました。

東京あおぞら連絡会は、総行動の中心部隊である「東京公害患者と家族の会」を支え、役員・理事が各所で交渉・行動に参加して行動、公害総行動の成功に貢献しました。
事務局長 大島文雄

☆☆ こうした素晴らしい活動こそ世の中、政治を動かします! ☆☆

第41回全国公害被害者総行動は今年で丸40年を迎えました。6月1日はあいにく主婦連合会の定期総会と重なり、日中の諸行動は参加できませんでした。しかし、ニッショーホールでの総決起集会和、翌日の内閣官房交渉に参加し、全国各地域での“なくせ公害、守ろう地球環境”の運動を精力的に積みあげておられる素晴らしい仲間によって感動しました。

総決起集会は、やや狭いホールでしたが、舞台一面ののぼり、たれ幕、プラカード、はちまき・たすき姿は、「運動の充実」に溢れていました。翌日参加の内閣官房交渉では支援団体のひとりとして、訴えを用意していましたが、原告のみなさんの涙溢れる訴えを聞きつつ心の中にとどめました。こうした素晴らしい活動こそ世の中を、政治を動かします。
代表委員 清水鳩子

☆☆ 全国公害被害者総行動に参加し、環境大臣に訴える ☆☆

環七通りから50メートルほどの場所に住み、子ども3人のうち20歳と16歳の子どもが東京都のぜん息認定患者です。東京都ぜん息認定患者新規認定の打ち切りにより、16歳の妹は18歳になると自動的に医療費補助が打ち切りになります。全国公害被害者総行動に参加し、環境大臣に大気汚染被害によるぜん息患者への医療費補助を要望しました。

丸川珠代環境大臣は、直接患者たちと言葉を交わす姿勢を見せましたが、ぜん息患者への医療費補助では、残念ながら前進の回答はありませんでした。これからも他の公害被害者とともに、直接声を上げ続けていくことが大切だと思いました。
東京公害患者と家族の会会員 西野陽子<江戸川区>



提供: 公害患者会事務局・牟田 静

☆☆ 総決起集会の司会役として ☆☆

橋本のぶ代さんと松平晃さんの素敵な歌声と演奏が終わり、いよいよ第41回公害被害者総行動決起集会のオープンです。発言される被害者団体の代表の皆さんが舞台への入場、閉会まで舞台にいないで進行するという新しい試みです。中山事務局長の基調報告に続いて、決起集会のメインとなる各被害者団体からの報告です。ここで司会者の真価が問われます。単なる団体の名前を紹介するのではなく、気持ちを込めてエールを送る紹介ができればと思いながらマイクを握りましたが、上手くできたか不安です。各被害者団体から被害の現状や闘いの到達点、決意などの訴えが終わるたびに、会場の参加者は激励と連帯の大きな拍手で応えていました。

途中で予定した時間より10分ほど押してきたので少し焦りましたが、大きなトラブルもなく、集会アピール宣言、参加者全員での合唱と団結がんばろうで集会を締めくくることができました。

初めての司会で多少緊張しましたが、斎藤園生弁護士のリードのおかげで責任を果たすことができました。全国の公害被害者が一堂に結集する公害被害者総行動決起集会の成功に少しでも寄与できたとしたら嬉しいです。貴重な経験から得たものを、今後の自分たちの運動に生かして頑張っていこうと決意しているところです。

東京公害患者と家族の会 国師英明<世田谷>



◆常任理事会: 7月21日 (15:00-患者会事務所)

◆第1回理事会: 8月4日 (18:30-東京地評地下会議室)